

# 経済日誌 (4.1～4.30)

## 国内外

### 4.2◇次世代型コンビニ開店

ファミリーマートとパナソニックは、顔認証による決済や、自動で価格を変更できる電子値札などの省力化技術を用いた実験店舗を横浜市にオープンした。コンビニ業界で人手不足が深刻化し、24時間営業の見直しを求める声が高まる中、店舗運営の効率化に取り組む。

### 4.3◇トヨタ、HV特許無償開放

トヨタ自動車は、ハイブリッド車（HV）など電動車の関連技術の特許を無償で提供すると発表した。モーターや電力制御装置など約2万3,740件が対象。世界的に環境規制が厳格化される中、自社で技術を囲い込む戦略を転換し、他社の参入を促して市場の拡大を狙う。

### 4.9◇紙幣、20年ぶり刷新

政府は2024年度上期をめどに1万円、5千円、千円の紙幣のデザインを一新すると発表した。新1万円札の肖像画には日本の資本主義の父とされる実業家の渋沢栄一、5千円札は津田塾大学創設者の津田梅子、千円札は細菌学者の北里柴三郎を選んだ。紙幣の刷新は20年ぶり。

### 4.11◇英離脱、10月末に再延期

欧州連合（EU）の臨時首脳会議は、12日に迫っていた英国のEU離脱について、最長10月31日まで再延期することで合意し、英国も同意した。経済や社会に混乱をもたらす「合意なき離脱」はひとまず回避されたが、英国が円滑な離脱を果たせる展望は開けていない。

## 県内

### 4.9◇観光拠点「秋田犬の里」完成

秋田犬とふれあえる新たな大館市の観光交流施設「秋田犬の里」がJR大館駅前に完成し、記念式典が行われた。秋田犬ブームを追い風に、国内外からの観光客を呼び込むための新たな拠点として期待される。4月17日にプレオープンし、5月8日にグランドオープンする。

### 4.18◇龍角散とコラボビール発売

劇団わらび座の酒類製造部門「田沢湖ビール」は、製薬会社の龍角散と開発したクラフトビール「ドラゴンハーブヴァイス」を発売した。国際ビール大会で金賞を受賞した「バイツェン」をベースに、美郷町産のカミツレを含む龍角散のハーブパウダーを副原料に使用した。

### 4.20◇まんが美術館、リニューアル

2017年4月から改修工事のため閉館していた、横手市の増田まんが美術館が改修を終え、リニューアルオープン式典が開かれた。人気漫画家から寄せられた約22万枚の原画を保存しており、ライブラリーでは約2万5,000冊が無料で読める。5月1日に正式に開館する。

### 4.26◇男鹿の海水塩でレモン酎ハイ

オエノングループの秋田県醗酵工業は、男鹿半島の海水塩を使った酎ハイ「秋田サワー 塩レモン」を県内限定で発売した。同社は県内産の焼酎と果物などを使ったサワーを「秋田サワー」と名付け、県内飲食店などで普及をはかっており、缶チューハイとして、今回商品化した。